

國字水滸傳十編 上

第十三回

赤髮鬼醉臥

靈官殿

晁天王認義

東溪村

國芳畫

怡樂

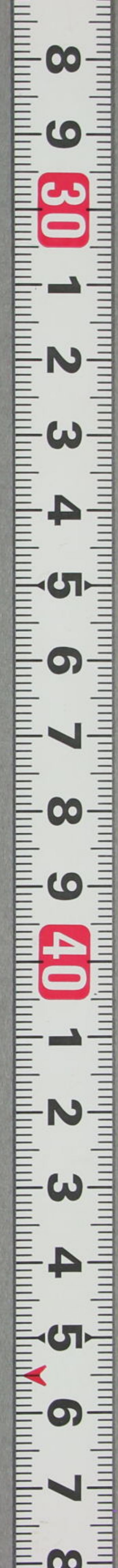
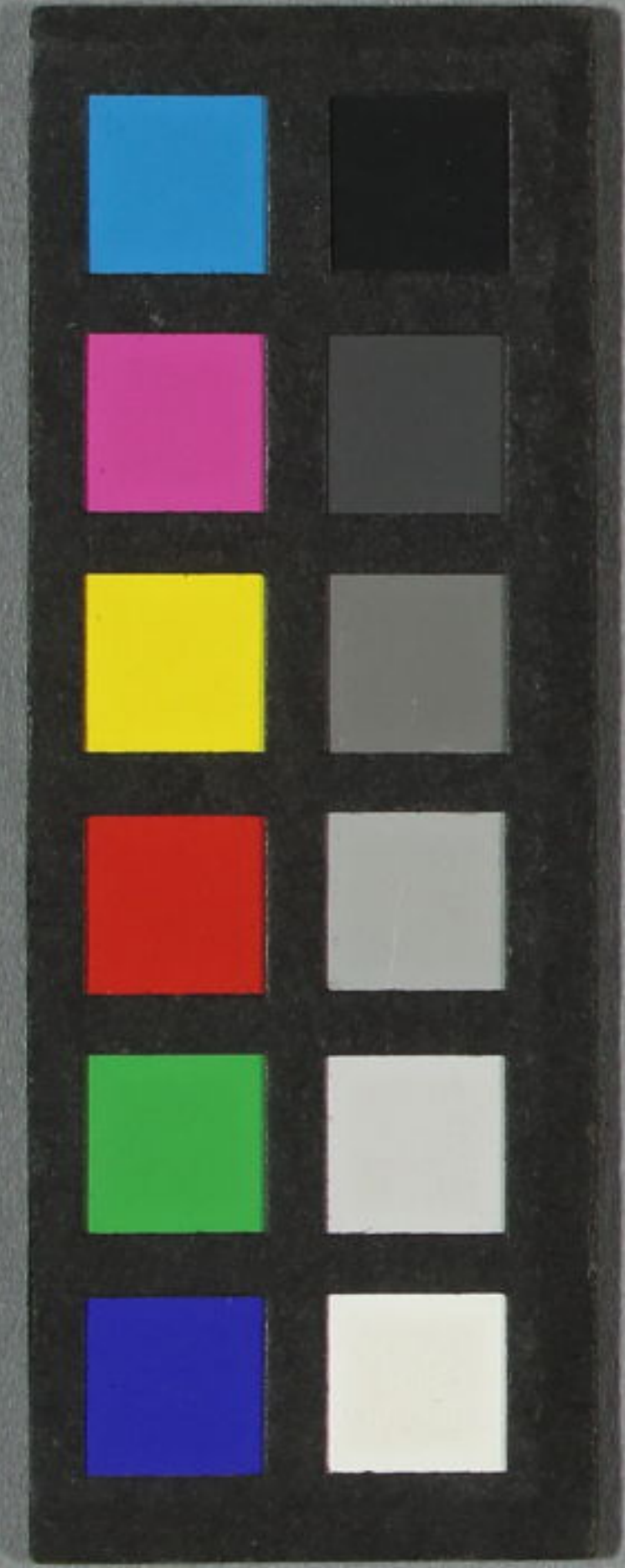
街書房



^ 13

3812

10



へ13  
3812  
168

國字水滸傳十編  
上卷 柳ノマカ校合厚田  
仙果補詠 歌川玉芳  
巻四

干岩天保三年  
壬辰春正月

永壽堂可梓

國字水滸傳山東先生ノ譚ヲ次テ予著スコト三帙今年  
世事秀々ト雪ノ如ク机上塵積テ拂ノ閑ナシ故ニ尾州厚田  
仙果ニ是ヲ委書房發行ヲ急ガ故ニ考訂倉卒ナリ  
誤最多カレバシ

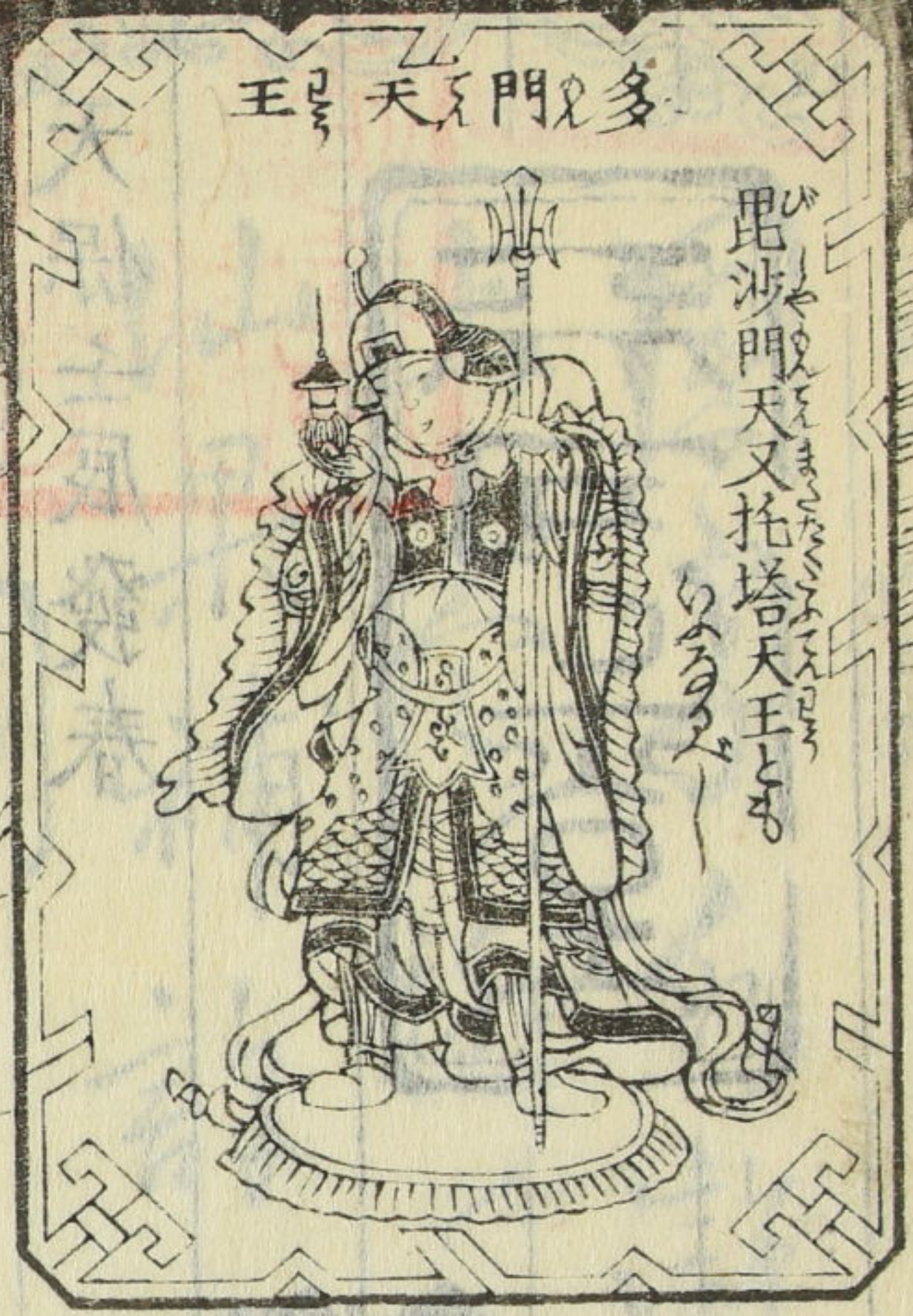
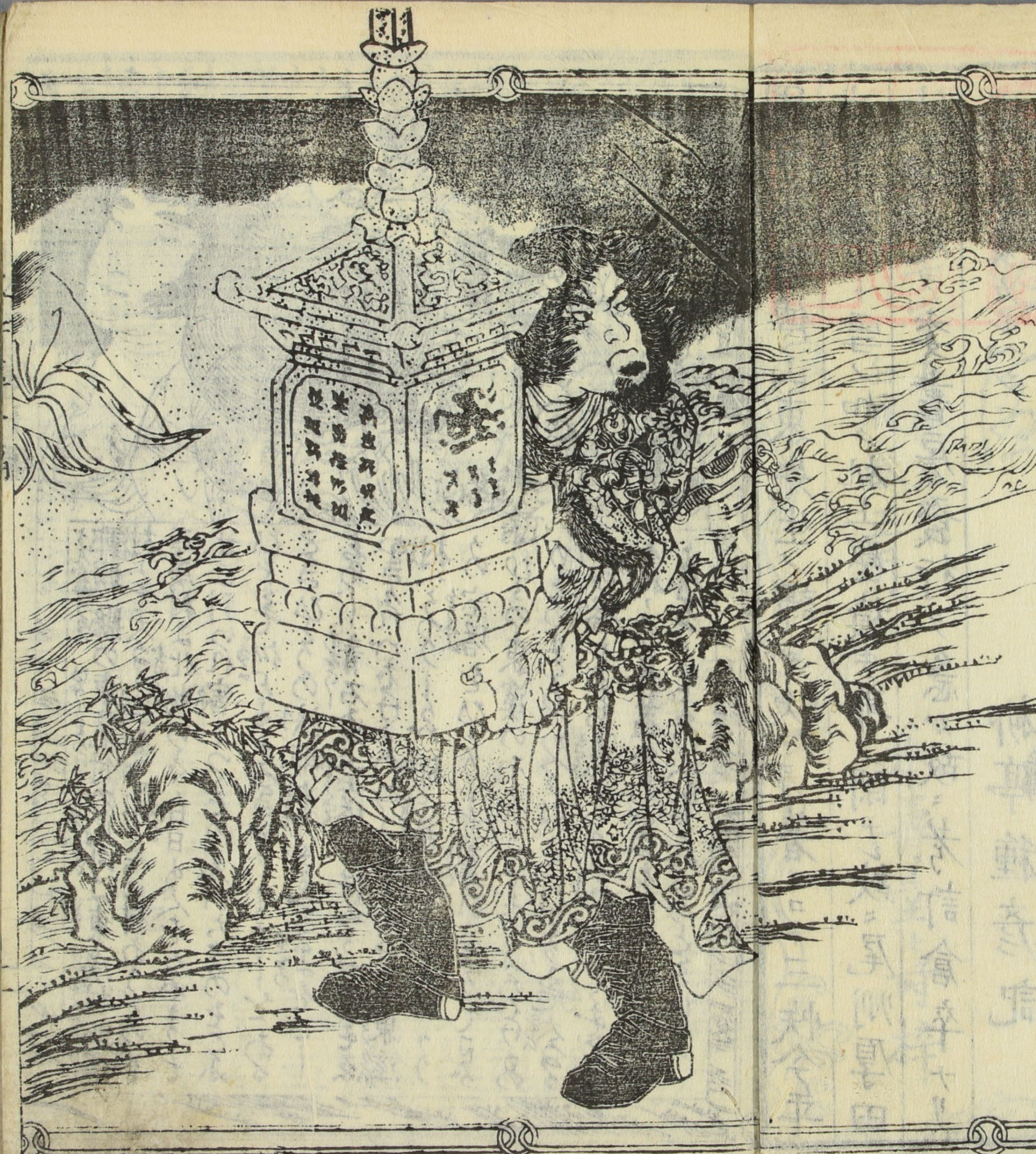
天保壬辰發春

柳亭種彦記

永壽堂



干岩傳一編



多門天之王

毘沙門天又托塔天王とも  
いふなり

托塔天王  
毘蓋

才信傳一編

壹







「一番のきつねのしんじん...」  
まにまをひきまわけ...  
大男...

「...」  
「...」  
「...」



晁蓋

「...」  
「...」  
「...」

「...」  
「...」  
「...」

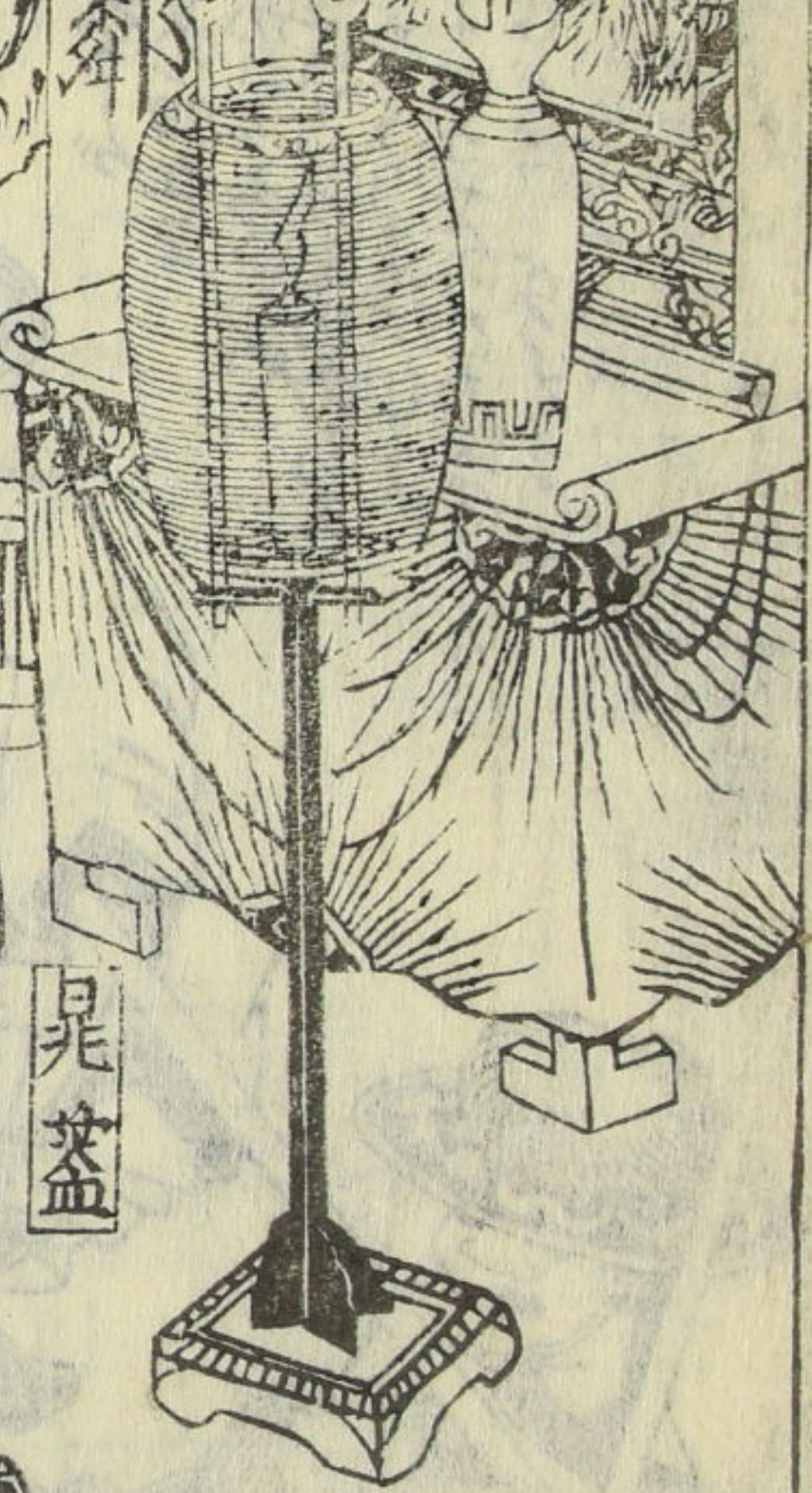
「...」  
「...」  
「...」

「...」  
「...」  
「...」





甘田鶏緑酒聚比鄰



是蓋

Handwritten text in the upper right section, likely a poem or commentary related to the wine.

壘横



Large block of handwritten text on the left side of the top half of the page.

Block of handwritten text located in the middle-left section of the page.

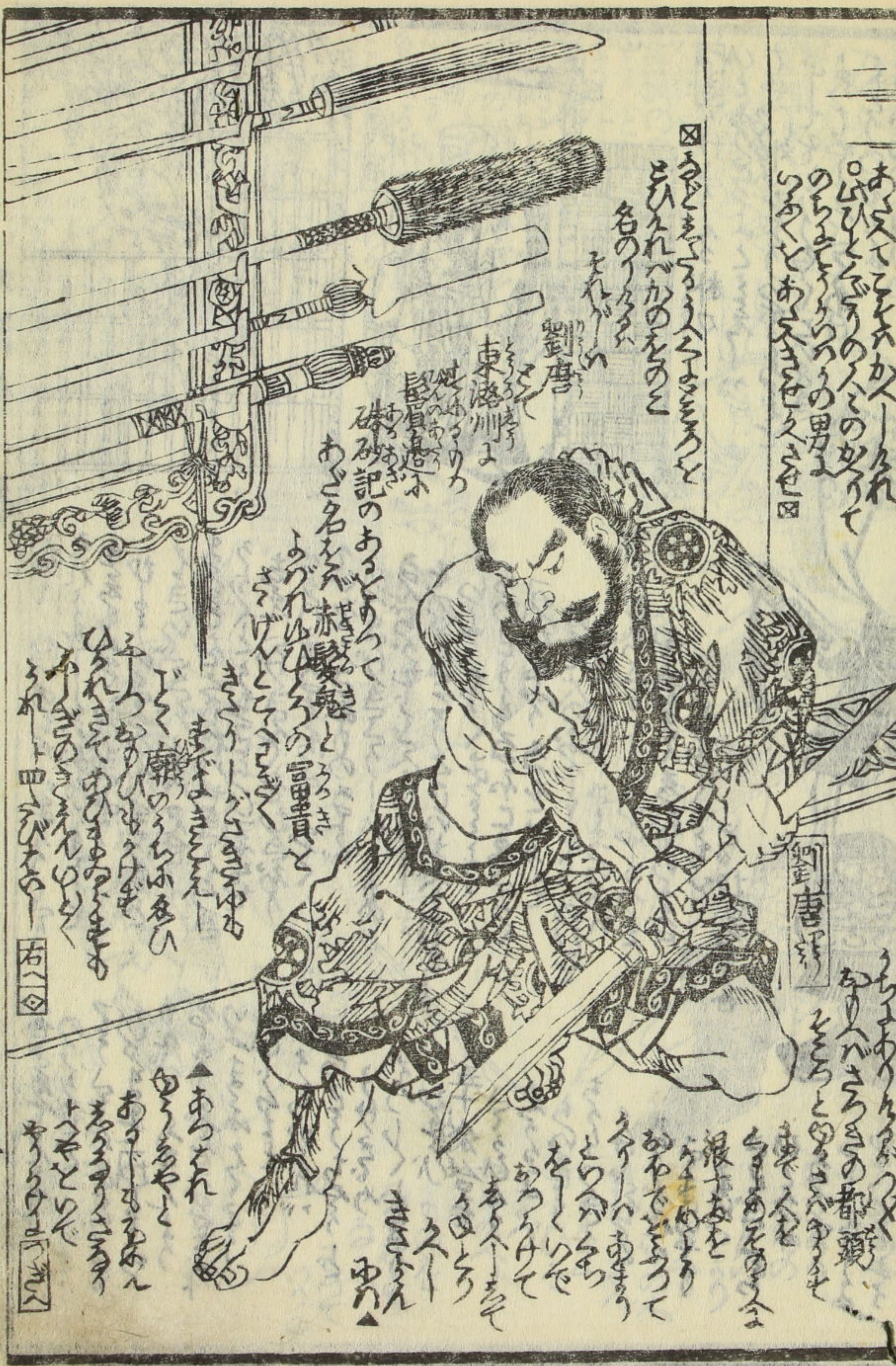
Block of handwritten text at the bottom left of the page.



○**劉唐**

あはてこそ大かへしこれ  
おひとさうの人の如うて  
のらよとさうの男よ  
うくとあはさませえとを

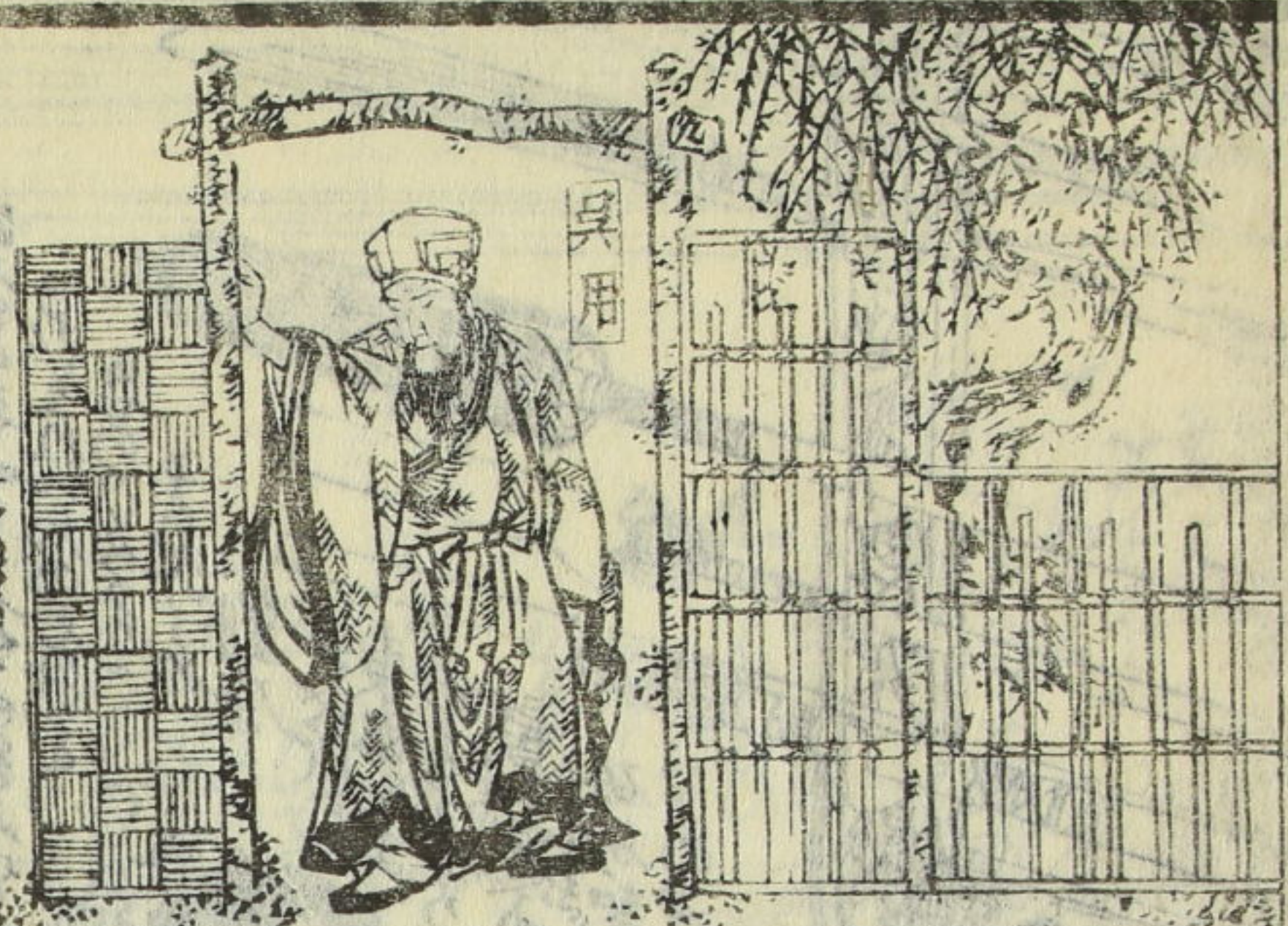
○**劉唐**  
あはてこそ大かへしこれ  
おひとさうの人の如うて  
のらよとさうの男よ  
うくとあはさませえとを



あはてこそ大かへしこれ  
おひとさうの人の如うて  
のらよとさうの男よ  
うくとあはさませえとを

あはてこそ大かへしこれ  
おひとさうの人の如うて  
のらよとさうの男よ  
うくとあはさませえとを

あはてこそ大かへしこれ  
おひとさうの人の如うて  
のらよとさうの男よ  
うくとあはさませえとを



林のけしき  
 五里相争  
 聖廟の  
 都頭  
 木口  
 五月廿六日



劉唐  
 壘横  
 都頭  
 五月廿六日  
 林のけしき  
 聖廟の  
 都頭  
 木口  
 五月廿六日

壘横の  
 劉唐の  
 都頭の  
 五月廿六日  
 林のけしき  
 聖廟の  
 都頭  
 木口  
 五月廿六日

壘横の  
 劉唐の  
 都頭の  
 五月廿六日  
 林のけしき  
 聖廟の  
 都頭  
 木口  
 五月廿六日

壘横の  
 劉唐の  
 都頭の  
 五月廿六日  
 林のけしき  
 聖廟の  
 都頭  
 木口  
 五月廿六日

入きあつての  
かまのそとを  
とる人の  
まごきまを  
を舟のま  
せいづまを  
うらまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを  
そのまを  
いづまを  
まごきまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを



劉唐

長用

田舎の  
まごきまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを

あつての  
かまのそとを  
とる人の  
まごきまを  
を舟のま  
せいづまを  
うらまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを  
そのまを  
いづまを  
まごきまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを



白公

劉唐



劉唐

あつての  
かまのそとを  
とる人の  
まごきまを  
を舟のま  
せいづまを  
うらまを  
ひらまを  
ころまを  
いのまを  
つらまを  
ひまを

松壽堂藏略目録

清懷中折本手巾内目錄  
 清家改撰消息注本  
 女用文章  
 古抄  
 高麗用文章  
 早學用文章  
 寶鏡教童子教  
 當時所用習物

奥州松島八景之圖 唐紙一枚摺  
 前北齋爲一老人筆  
 加目位算早割塵劫記 全一冊  
 繪本平家物語 松亭金水譯  
 分間御江戸圖 一枚摺  
 松壽年代記 兩面摺  
 繪本平家物語 秋川國直画  
 分間御江戸圖 一板摺  
 松壽年代記 兩面摺

柳亭校合厚  
 田仙果輝  
 先春堂補  
 晋川國芳画

見基  
 七星屋脊  
 堅る花を

Handwritten notes in cursive (sōsho) style are scattered around the illustration, including the name 'L'ONN' and other illegible characters.

國字水滸傳十編

下

第十四回

吳學究說三

阮撞籌

公孫勝應七

星聚義

仙果譯

新

亭

初

片

筆

頤















三の巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

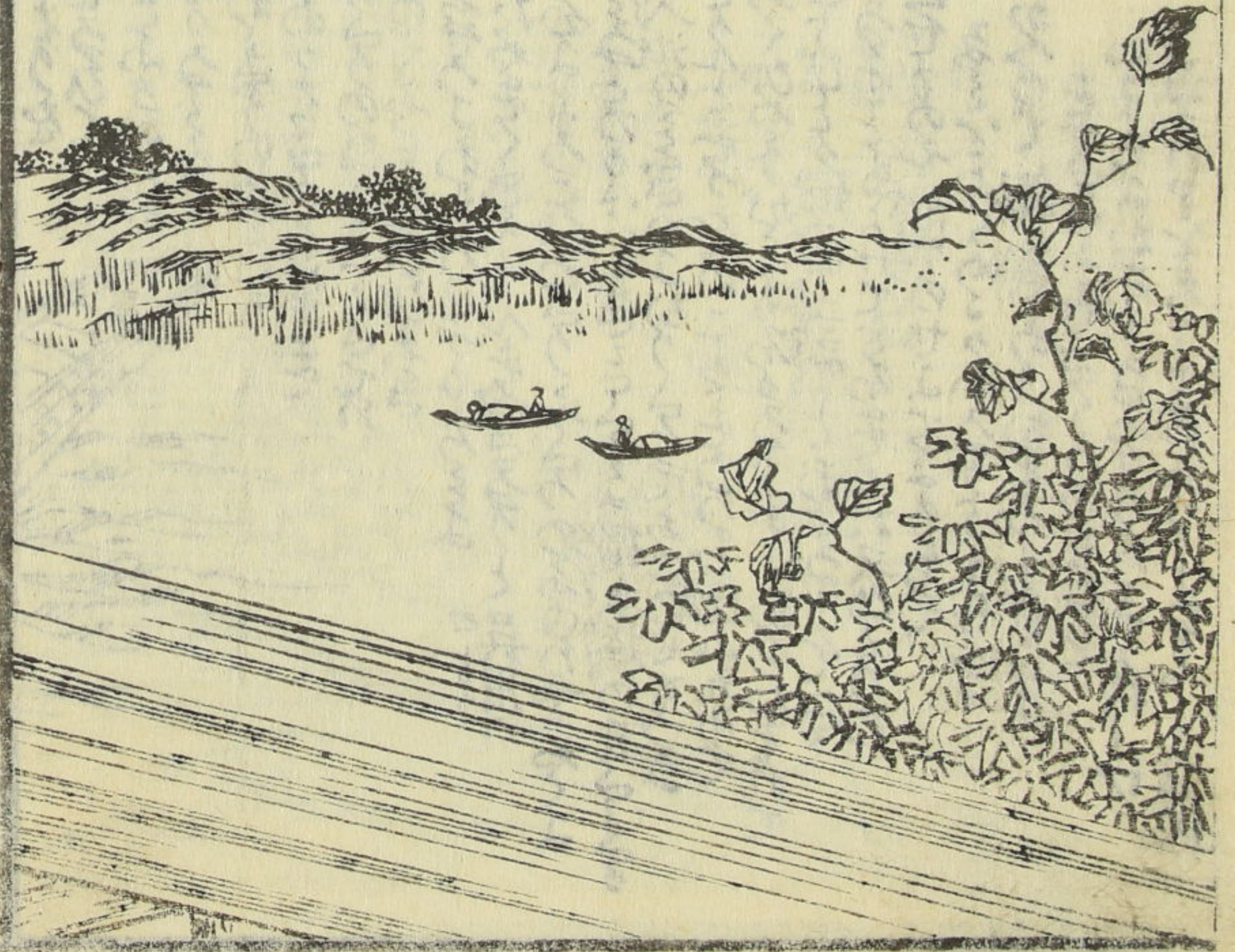
三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん



三の巻より  
三つめの巻へ  
のりへん



三の巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん

三つめの巻より  
 三つめの巻へ  
 のりへん









水清俱 十條  
 此物乃日本國所產之  
 一種名貴之藥材也  
 其味甘美而性平  
 能補氣血而壯筋骨  
 誠為居家旅行必備  
 之良藥也



此物乃日本國所產之  
 一種名貴之藥材也  
 其味甘美而性平  
 能補氣血而壯筋骨  
 誠為居家旅行必備  
 之良藥也

此物乃日本國所產之  
 一種名貴之藥材也  
 其味甘美而性平  
 能補氣血而壯筋骨  
 誠為居家旅行必備  
 之良藥也

此物乃日本國所產之  
 一種名貴之藥材也  
 其味甘美而性平  
 能補氣血而壯筋骨  
 誠為居家旅行必備  
 之良藥也

此物乃日本國所產之  
 一種名貴之藥材也  
 其味甘美而性平  
 能補氣血而壯筋骨  
 誠為居家旅行必備  
 之良藥也

# 松壽堂藏版略目錄

<p>美艶仙女香 黒油美玄香 包四十八文 松平氏精製</p>	<p><b>國字水滸傳</b> 仙果作 國芳画</p>	<p>三爰居 <b>聲早合点</b> 徳井作 中本一冊 似顔画入國貞画</p>	<p><b>天保大雜書</b> 方々曆 此書の人間一書を定めて集り 神化あり家老を命する。故に芥 男女相性毎相万手曆より定む</p>	<p>神代物語の 金銀傳と懺業 世の常世流行の 人情と執事の 人情と執事の 人情と執事の <b>風俗金魚傳</b> 馬琴作 歌川國直画</p>
--	-------------------------------------	---	--	---

地本錦繪問屋  
大黒屋平吉

# 國芳畫仙果譯

仙果譯の目録  
第一編の目録  
第二編の目録  
第三編の目録  
第四編の目録  
第五編の目録  
第六編の目録  
第七編の目録  
第八編の目録  
第九編の目録  
第十編の目録  
第十一編の目録  
第十二編の目録  
第十三編の目録  
第十四編の目録  
第十五編の目録  
第十六編の目録  
第十七編の目録  
第十八編の目録  
第十九編の目録  
第二十編の目録  
第二十一編の目録  
第二十二編の目録  
第二十三編の目録  
第二十四編の目録  
第二十五編の目録  
第二十六編の目録  
第二十七編の目録  
第二十八編の目録  
第二十九編の目録  
第三十編の目録



筆耕千形道友

十二月日  
二の巻  
あり



新 新 新 策  
新 新 新 策  
新 新 新 策  
新 新 新 策  
新 新 新 策